

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「漢字を読む力」は、どの学年も目標値の近似値か上回る結果となっている。
- ・「話し合いの内容を聞き取る力」は、目標値の近似値か目標値を上回る結果となっている。

(2) 課題

- ・昨年度から課題として出ている「文章を書く力」は、どの学年でも目標値を大きく下回っている。「文章を書く」項目は、無回答の児童の割合が多い。「文章を書く力」の育成が課題である。
- ・「漢字を読む力」は目標値に近い数値となっているが、「漢字を書く力」は目標値を下回っている。「漢字を書く力」の育成が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	△「話し合いの内容を聞き取る」領域では、目標値を上回っている。 ▽「漢字の読み書き」及び「文章を書く」領域において、目標値を下回っている。特に、「指定された長さで文章を書くこと」「自分の考えを明確にして書くこと」に課題がある。		
第5学年	△「物語の内容を読み取る」は目標値を上回った。 ▽上記以外の項目では、全て目標値を下回った。	△「漢字を読む」「漢字を書く」は目標値を上回っている。 ▽その他の領域は全て目標値を下回っている。特に、考えとそれを支える事例との関係を明確に書くことや、指定された長さで文章を書くことに課題がある。	
第6学年	△「文章を読む」領域では、ほとんどの項目で目標値を超える、また	△「文章を書く」領域で目標値を大きく超えていて昨年度の改善	△「読むこと」については、物語文と説明文のどちらも前年度の結

	は目標値と同等の正答率であった。 ▽「文章を書く」領域は、ほとんどの項目で、目標値を下回っていた。指定された条件で文章を書いたり、自分の意見と理由を明確にした文章を作成したりする力を付けていくことが求められる。	プランの成果が見える。 ▽近似値ではあるが、「漢字を書く」領域が目標値を下回ったので、授業改善プランに加えたい。	果を上回っている。 ▽考えと事例、情報と情報など、文章の中の関係性を理解し、正確に書くことに課題がある。
--	---	--	--

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 漢字の定着率が低い。毎回の漢字テストの80点以上の合格率は、3割程度と低い。既習の漢字を作文活動などで使うことが難しいと感じる児童が多い。 - 漢字及び言葉に関する項目では、特に漢字を書く問題の正答率が低い。また、「主語と述語の関係」の理解を定着させる必要がある。	- 俳句・短歌・作文などの表現活動で苦手意識があり、文章表現に工夫が少なく、思いを十分に述べることができない児童が多い。 「説明文の内容を読み取る」領域で、「叙述をもとに段落の内容を捉えること」は、目標率を下回っている。	- 挙手して、発言できる児童が少数で限られている。人前での発言を苦手と感じている児童が多い。 - 選択式の問題と比べて、自由記述型の問題の無解答率が高い。特に、「要約をする問題」や「立場を決めて自分の考えを書く問題」の結果から、粘り強く取り組もうとすることに課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字及び言葉に関する項目は、おおよそ目標値の近似値に位置した結果であった。	5学年は物語文の読み取りは概ね目標値を上回ったが、説明文や記述問題では目標値を下回った問題が多い。 6学年は、説明文や物語文どちらの文章の読み取りは、概ね目標値と同等か目標値を上回っていた。 6学年では、自身の考えや理由を説明する文章の作成ができていない傾向がある。	「文章を書く」領域で、無回答が大きく増える。粘り強く設問に取り組むことが課題である。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉集めや文作りを通して、文字学習の基礎作りを行う。 ・学習した漢字は、習熟のためミニテストを繰り返して行う。 ・タブレット端末のアプリを活用して、基礎基本の定着を図る。	・文章に親しむ一環として、関連図書の読み聞かせや読み聞かせ後のクイズを取り入れ、読書に慣れ親しむ。 ・考えを発表するときに、理由とともに述べることを習慣付ける。	・自分の意見をもつ練習を行い、課題を自分事としてとらえることができるようにする。 ・読書学習司書に、授業との関連図書を用意してもらったり、論理的思考力を高める教材図書で読み聞かせをしてもらったりする等して、児童がすすんで読むことができるようにする。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字の定着率が低いので、学校でやったり、宿題として学習したりするなどして、漢字テストに臨んでいる。また、テスト直しを行うことも指導し、定着を図っている。 ・言葉の学習については、単元の学習時間だけでなく、朝学習や授業のウォーミングアップ活動等で取り入れることで、定着を図る。	・俳句・短歌活動を取り入れている。名句の分析や暗唱を行い、巧みな表現方法を指導している。作文活動では、事前に箇条書きで書きたい内容をメモして、書き上げることを指導している。 ・図や表などを活用しながら、段落の内容を捉えたり、要約をしたりする活動を行うことで、児童が自分自身で言葉を組み合わせる短い文章にまとめる力を高める。	・日直スピーチ活動により、人前で話す機会や、班での話し合いで、自分の意見を言う活動などを通して、自分の思いを伝えることができる場を設定している。 ・学習の振り返りを書く活動や、書いた文章を友達と交流する活動を通して、文章で書き表す習慣を身に付けられるようにする。また、書く活動の目的やテーマを工夫し、書こうとする意欲を高められるようにする。 ・読書学習司書に、授業との関連図書を用意してもらったり、論理的思考力を高める教材図書で読み聞かせをしてもらったりする等して、児童がすすんで読むことができるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・既習漢字も新出漢字も知識が定着し、正しく書けるように毎日学習で取り組んだり家庭学習に課したりして、読み書きの日常化を図る。 ・漢字のミニテストなど反復して行い、知識・技能の定着を図る。	・説明的な文章に慣れるよう、学習を音読から始めたり、毎日音読の宿題を課したりして、文章に慣れていくようにする。 ・読書活動を意図的に設け、文章を読むことに親しんでいく。 ・文章の作成になれるため、文章を作成する際に文章構成の型をいくつか提示することで、書くことになれるようにする。	・日記や短作文に取り組むなどして自分の思いや考えを書き表す習慣をつける。 ・書いた文章は児童同士で推敲し合う時間を意図的に設け、よい文章にしていこうとする態度を育成する。 ・読書学習司書に、授業との関連図書を用意してもらったり、論理的思考力を高める教材図書で読み聞かせをしてもらったりする等して、児童がすすんで読むことができるようにする。